

府内における企業の生物多様性保全の活動事例



地域の身近な生物多様性を保全するために、企業はどんな取り組みができるでしょうか。一つの例として、おおさか生物多様性パートナー協定と、締結企業の活動事例をご紹介します。

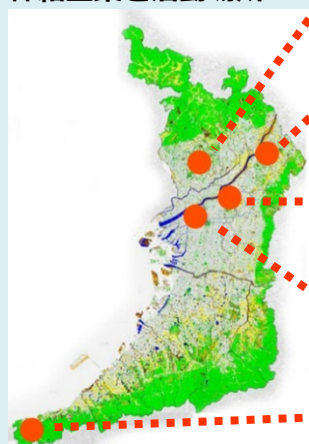
おおさか生物多様性パートナー協定

府内での生物多様性保全をより推進するため、生物多様性保全に関する企業の取り組み大学や研究機関、行政等が連携して支援する制度として、大阪府が2013年に創設しました。

大阪府は活動について情報提供やアドバイスを行うとともに、地域や専門家とのつながりのコーディネートなどを行っています。



締結企業と活動場所



パナホーム株式会社（協定締結：2014年2月）

協定者：府立大学^{注1}、府立環農水研^{注2}、豊中市、大阪府

コマツ（協定締結：2016年3月）

協定者：府立大学、府立環農水研、枚方市、大阪府

パナソニック株式会社エコソリューションズ社（協定締結：2013年11月）

協定者：府立大学、府立環農水研、大阪府

積水ハウス株式会社（協定締結：2015年3月）

協定者：府立大学、府立環農水研、大阪府

南海電気鉄道株式会社（協定締結：2014年3月）

協定者：府立環農水研、岬町、大阪府

注1府立大学：公立大学法人 大阪府立大学、注2府立環農水研：地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所

企業の敷地等に造成したビオトープでの生態系の保全や希少種の保護、地域と連携した環境教育など、様々な活動を行っています。



～企業の活動事例～

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社



エコソリューションズ社門真地区本社はんえいの広場ビオトープ



小学生との観察会



保護しているカワバタモロコ

活動事例

エコソリューションズ社門真地区のはんえいの広場ビオトープ（門真市）での取り組み

活動の目的

従業員や地元小学生の生物多様性に対する意識向上と、地域の生物多様性保全を目的としています。

活動に取り組んでいる理由

当社の環境方針の行動指針には、生物多様性に配慮した環境活動の推進が明記されています。さらに地域社会との連携を通じた社会貢献も求められており、その実践の一つとして取り組んでいます。

活動内容・頻度

ビオトープは、飛来する鳥や昆虫の生息場所として、また、地域で絶滅に瀕しているミナミメダカやカワバタモロコの保護の場となっています。多くの生きものが生息できる環境を維持するために、従業員ボランティアが定期的（月1度程度）に草刈などの整備を行っています。ビオトープを活用して地域に貢献するため、地元小学校や従業員の子どもの対象とした教室を年に数回実施しています。他にも専門家と連携した生物調査や勉強会の開催、社内外に向けた活動の発信として、ビオトープの様子や生きものを紹介する「ビオトープ便り」（季節ごとに発行）を作成しWEBサイトで公開しています。

URL : <http://panasonic.co.jp/es/environment/biodiversity/>

担当者は語る！

▶ 活動していて良かったことや、エピソードはありますか？

企業が生物多様性への取組みとしてビオトープを運営することで地域との交流を図ることができるようになりました。

ビオトープのボランティア活動には様々な所属の方が参加しています。これまで仕事上では接することがないような他部署との交流の場にもなり、組織の活性化につながっていると感じます。



～企業の活動事例～

パナホーム株式会社



本社つながりの広場ビオトープ



小学生の環境教育



ミナミメダカ

活動事例

本社つながりの広場ビオトープ（豊中市）での取り組み

活動の目的

地域のエコロジカルネットワークの保全や、地域や人とのつながりを目的としています。

活動に取り組んでいる理由

当社の行動基準には、地球環境の共存として生物多様性への配慮などが明記されています。さらに地域社会との共生のため社会貢献にも努めており、その取り組みの一つとして実践しています。

活動内容・頻度

「つながりのひろば」は誰でも訪れることができる、地域に公開された緑化ゾーンで、広さ150㎡の池をはじめ、気候風土に適した樹種、太陽光発電や風力発電施設等で構成されています。ビオトープの池では、本社ビルが位置する地域（安威川水系）の絶滅危惧種ミナミメダカとカワバタモロコを保全しています。また、ビオトープや住まいとくらしの情報館・千里を活用した近隣小学校への授業実施（年数回）など、生物多様性の活動や環境教育を地域貢献活動として継続的に実施しています。ビオトープの生き物調査(年2回)や環境学習、専門家と連携した社内向け勉強会の実施や、ビオトープの様子を紹介する「つながりのひろば便り」を季節ごとにWEBサイトに掲載し、活動を社内外へ発信しています。

URL : <http://www.panahome.jp/company/environment/social/index.html>

担当者は語る！

▶ 活動していて良かったことや、エピソードはありますか？

環境教育では、子ども達から、生き物を守るために自分ができることを考えてもらい、「ポイ捨てをしない」、「飼っている生き物を大切に育てる」など、様々な宣言をして頂きました。また、社外評価としては、『ビオトープ「つながりのひろば」における環境体験学習』が、国連生物多様性の10年日本委員会主催の「生物多様性アクション大賞2015」「ふれよう部門」に入賞するなど、いくつかの賞をいただきました。

今後も、この取り組みを広げ、地域の生態系保全を行い、地球環境を未来につなげて行きたいと思っています。



～企業の活動事例～

南海電気鉄道株式会社



ビオトープハイキング



自然観察会



田植え

活動事例

「岬町多奈川地区多目的公園（いきいきパークみさき）」内のビオトープ（岬町）での取り組み

活動の目的

沿線の自治体等とパートナー協定を締結し、豊かなみどり・自然環境の保全に向けて、岬町多奈川でビオトープ等の環境保全を目的とした活動を行っています。

活動に取り組んでいる理由

わたしたち南海電鉄グループは「地球環境保全」を企業の使命の1つと認識し、すべての事業活動を通じて環境への影響を常に配慮し、自然環境にやさしい社会づくりを目指しています。

活動内容・頻度

大阪府最南端に位置する岬町にある「岬町多奈川地区多目的公園」内のビオトープにおいて、生物多様性保全活動を行っています。ここは、大阪府が関西国際空港2期事業の土砂採取・供給工事の跡地に、ミティゲーションとして整備したもので、管理は岬町が行っています。このビオトープでの保全活動に、社員が毎月参加しています。毎年5月には、「森林浴&ビオトープハイキング」イベントを開催し、300人を超える参加者を迎えています。イベント時には、ビオトープを活用した「多奈川自然観察会」を実施するなど、参加者に生物多様性を理解いただく機会を提供しています。

URL : http://www.nankai.co.jp/company/csr/kankyoku_report.html

担当者は語る！

▶ 活動していて良かったことや、エピソードはありますか？

参加者からは、森林浴ハイキング、自然観察会への参加はとても魅力のある楽しいイベントですので、また参加します。といったお言葉を多数いただいております。毎月行っている保全活動の中では、田んぼづくりも行っており、12月にはビオトープ米で餅つきをして、つくたてのお餅をビオトープ関係者みんなで頬張りながら会話も弾み、とても楽しいひとときを過ごしています。

ビオトープでの保全活動をはじめ、その他の様々な環境保全活動やグループ全体での環境への取り組みも評価され、平成28年2月、「第7回 E S T交通環境大賞」において、「環境大臣賞」を受賞いたしました。



～企業の活動事例～

積水ハウス株式会社



新梅田シティ「新・里山」



小学校児童による田植え



ミズアオイ

活動事例

新梅田シティ「新・里山」「希望の壁」（大阪市）での取り組み

活動の目的

「新・里山」は、当社「5本の樹」計画の考え方にもとづき、雑木林や棚田、野菜畑などを配し、失われつつある日本の原風景「里山」を都心部に再現し、地域の在来種を中心に植栽することで、地域に生息する生き物の多様性にも配慮した空間です。

活動に取り組んでいる理由

人間はもちろんのこと野鳥、昆虫や植物など、いろいろな生き物が関わりを持ちながらともに成長し、都市環境と自然の融和を目指しています。

活動内容・頻度

淀川のほど近くJR大阪駅から徒歩10分の立地に、新梅田シティの公開空地として、生物多様性に配慮した約8,000m²の里山をつくり、地域の皆様や一般の方々に親しまれています。

この場所は、日本の原風景である「里山」を手本に、草花はもちろん水田、畑、雑木林などを配置し里山空間を創出したものです。地元の幼稚園、小学校と協働し教育支援活動の展開や、大阪府等との協定によるミズアオイといった希少種の保護にも取り組んでいます。

URL：<http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/biodiversity/>

担当者は語る！

▶ 活動していて良かったことや、エピソードはありますか？

2006年夏に「新・里山」がオープンして以来、緑の量も増え、鳥や蝶などの生きものもたくさん利用するようになりました！ハイタカや、ミゾゴイといった希少種も訪れたんですよ！

ビルのオフィスワーカーが朝やランチタイムにボランティアで畑作業をしたり、地域の環境教育の場としても利用され、人にも生きものにとっても癒しの場となっています。

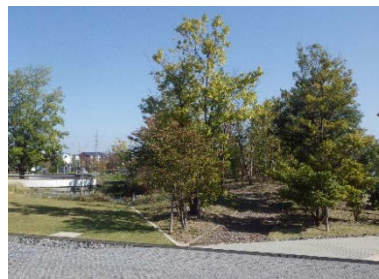


～企業の活動事例～

コマツ（株式会社小松製作所）



大阪工場 コマツ里山



コマツ里山の林



事業所フェアでのパネル展示

活動事例

大阪工場「コマツ里山」（枚方市）での取り組み

活動の目的

地域の生物多様性の保全に直接的に関わり、社員の意識を高めること、さらに工場の土地を生物多様性保全に活用する目的で活動しています。

活動に取り組んでいる理由

コマツでは生物多様性宣言を策定しており、事業活動と社会貢献活動の2つの側面から生物多様性への配慮や保全活動を推進しています。地域に根ざした生物多様性を保全するため、行政機関、地域住民およびNGOなどとの連携により活動を進め、地域が誇れる企業をめざしています。

活動内容・頻度

コマツ里山は、池と林から構成され、地域の里山を復元しています。枚方市内の里山や休耕田から採取した植物や土を用いることで、地域の生物多様性に配慮しています。池では休耕田の土に含まれていたと考えられるミズオオバコなどの水生植物が繁茂し、トンボのヤゴや水鳥など多くの生きものの生息場所となっています。専門家による定期的なモニタリング調査や、事業所フェアの来場者向けにビオトープに住む生きもののパネル展示などを行っています。工場内に一般の方は入ることができませんが、コマツ里山は工場外の公開空地まで林が繋がっており、いつでも見ていただくことができます。

<http://www.komatsu.co.jp/CompanyInfo/csr/environment/2015/33.html>

担当者は語る！

▶ 活動していて良かったことや、エピソードはありますか？

外来種駆除などのコマツ里山の維持管理は大変ですが、国内や海外からのお客様や地域住民の方から好評を頂いていることや、休憩時間に里山内を散策している従業員を見かけた時には活動していて良かったと感じます。

2011年5月の竣工時より年々緑量と生育種が増加すると共に飛来する昆虫や鳥類の種類が増えています。カルガモは年々増加し、2015年10月にはカワセミを初めて確認しました。

